

2021年3月期 第1四半期決算 補足資料

株式会社 Kids Smile Holdings
証券コード 7084

2020年8月14日

KIDS SMILE HOLDINGS

2021年3月期 第1四半期決算概要

決算ハイライト

	2021年3月期 1Q実績	2021年3月期 業績予想	2020年3月期 通期実績
売上高	2,167	8,825	7,275
営業利益	▲287	▲682	▲323
経常利益	816	651	1,885
親会社株主に帰属する 当期純利益	476	387	1,175

(単位：百万円)

➤ 売上高 21.6億円

認可保育所は第1四半期において9園新規開設。認可外保育施設の売上は、コロナウイルス感染症拡大の影響で約2ヶ月医療関係者等以外は登園自粛を要請したことにより大きく減少。認可保育所への影響は軽微だが、例年より4月以降の園児数の伸び率が微減。

➤ 営業利益 ▲2.8億円

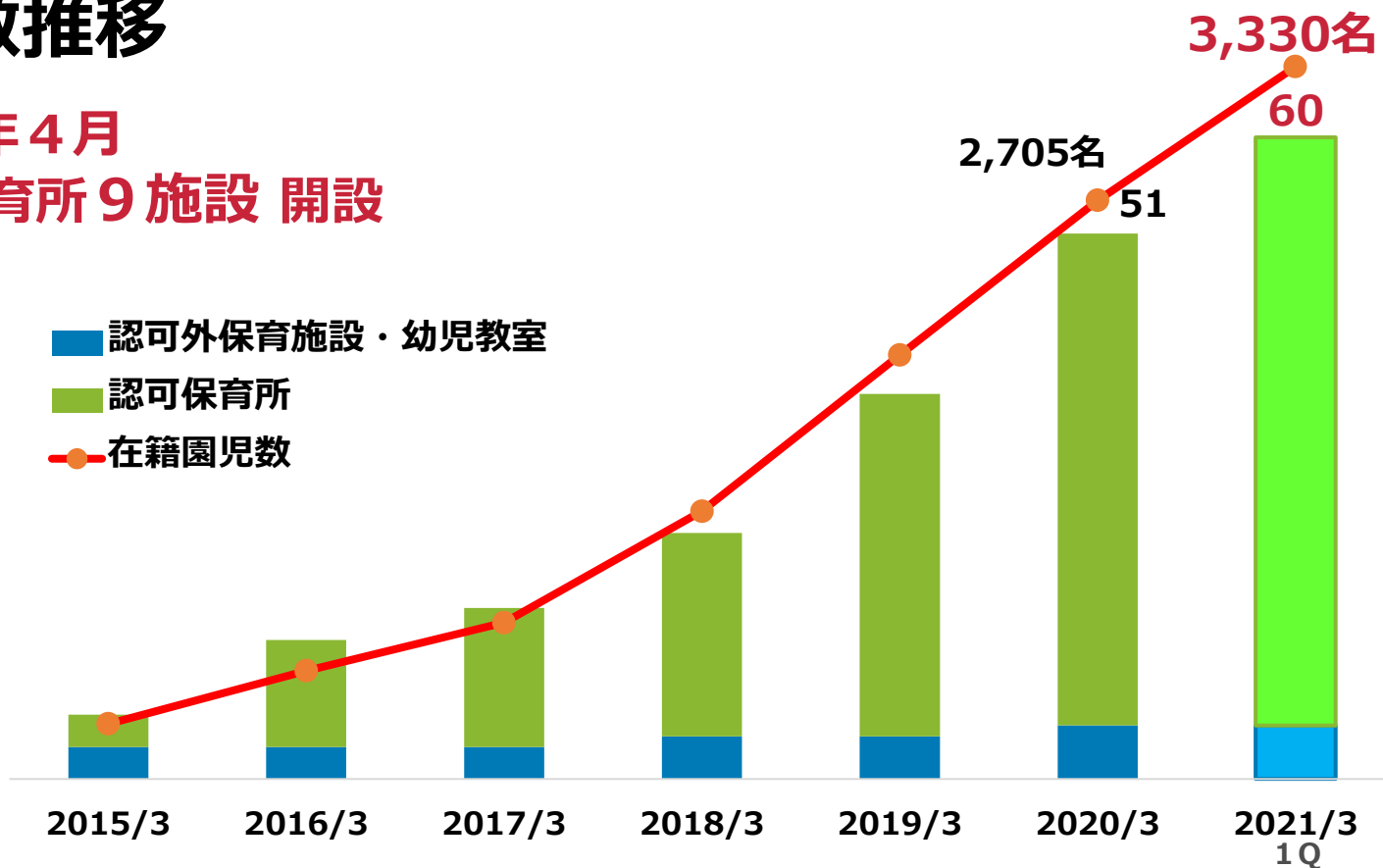
認可外保育施設の売上減少の一方で、新規開設に伴う固定費の増加・採用関連費の計上、給与等の経費削減はおこなっていないためマイナス。

➤ 経常利益 8.1億円

新規開設に係る設備投資に対する補助金収入を営業外収益に計上したことによりプラス。

施設数推移

2020年4月
認可保育所9施設 開設

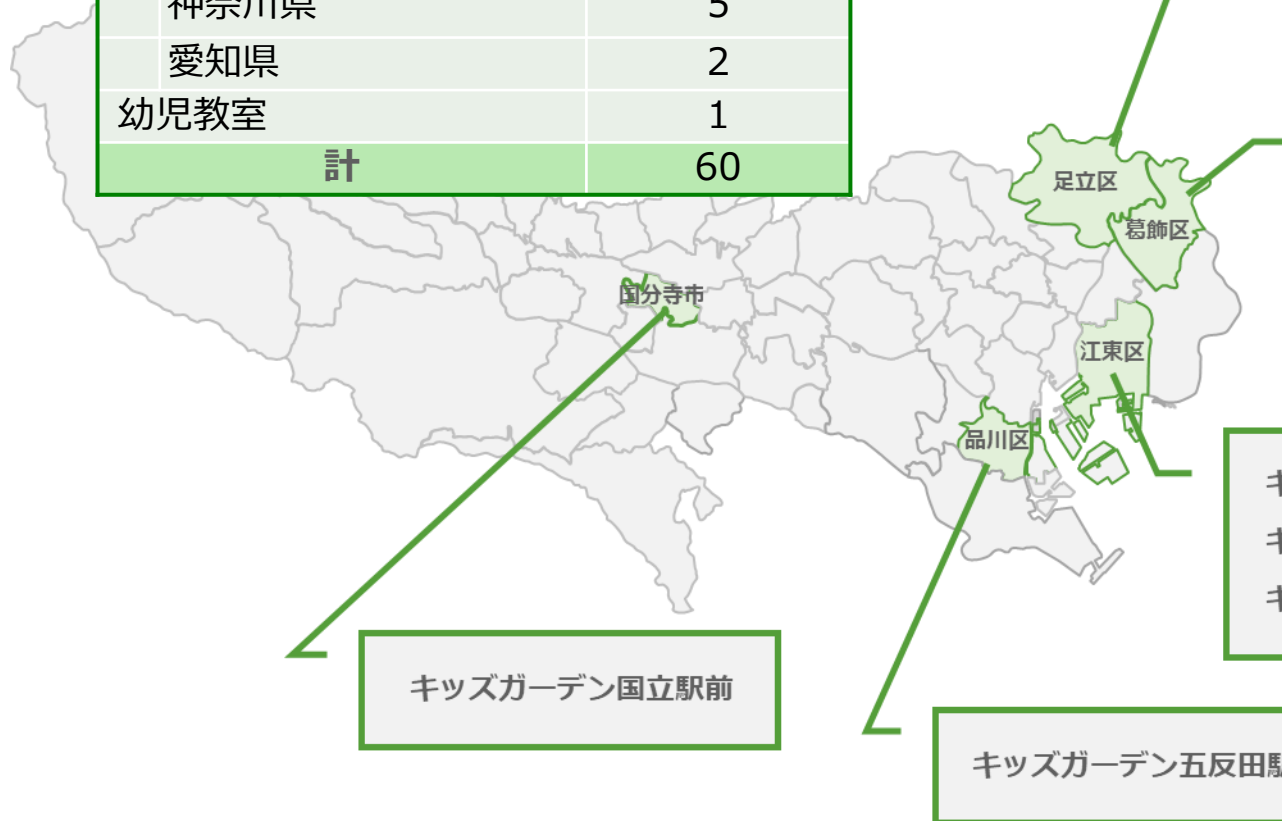


	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期 (1Q)
認可外保育施設 幼児教室	3	3	3	4	4	5	5
認可保育所	3	10	13	19	32	46	55
在籍園児数	258	506	731	1,252	1,982	2,705	3,330

※ 2020年7月に東京都内に1施設を新規開設し、8月14日現在計61施設運営

第1四半期に新規開設した運営施設

施設数（2020年6月30日時点）	
プレスクール一体型保育所	4
認可保育所	55
東京都	48
神奈川県	5
愛知県	2
幼児教室	1
計	60



キッズガーデン足立島根
キッズガーデン足立興野
キッズガーデン足立青井

キッズスマイル葛飾東水元

キッズスマイル江東有明
キッズスマイル江東東砂
キッズスマイル江東北砂

キッズガーデン国立駅前

キッズガーデン五反田駅前

2021年3月期第1四半期業績

(単位：百万円)

四半期連結損益計算書

	2021年3月期 第1四半期
売上高	2,167
売上原価	2,012
販売費及び一般管理費	443
営業損失	▲287
営業外収益	1,114
営業外費用	10
経常利益	816
親会社株主に帰属する 四半期純利益	476

四半期連結貸借対照表

	2020年3月期	2021年3月期 第1四半期	増減額
資産合計	11,525	10,663	▲862
流動資産	2,545	1,923	▲622
固定資産	8,979	8,739	▲239
負債合計	6,798	5,444	▲1,353
流動負債	3,616	2,026	▲1,590
固定負債	3,181	3,418	236
純資産合計	4,726	5,218	491

➤ 自己資本比率は7.9%上昇（41.0% → 48.9%）

第1四半期業績について

■売上高

認可保育所

- 2020年4月に、東京都内に認可保育所を**9施設**開設
- 既存施設の入所率が増加（2020/3時点：**74.2%** → 2020/6時点：**84.4%**）

認可外保育施設

- 4、5月は新型コロナウイルス感染症の拡がりにもなう緊急事態宣言、自治体の要請等により医療関係者等以外は登園自粛を依頼したため大幅な減少。6月以降は利用率が回復。前期並みの利用率に戻るのには少し時間がかかる見通し。

■売上原価

- 従業員の給与は、休園や登園自粛期間中も全額支給
- 新規開設に伴う設備投資により、前期比で減価償却費が増加

■販売費・一般管理費

- 上場企業としての本社体制強化、来期以降の新規事業展開を見据えた新規事業開発人員採用で、本社人件費が増加

■営業利益

- コロナウイルス感染症の影響で認可外保育施設の売上が減少したこと、認可保育所の新規開設に伴う人件費・地代家賃の増加、新園9園を含む4月採用の保育士等の採用関連費計上、4月以降の利用率の増加が鈍化したことによりマイナスに

■経常利益

- 新規開設に伴う開設時補助金収入を計上

新型コロナウイルス感染症による業績への影響

認可保育所

毎月月初の在籍園児数に応じて運営補助金等が交付されるため、業績への影響は軽微。4月以降の利用率の伸びや延長利用は鈍化。

認可外保育施設（プレスクールー体型保育所）

新型コロナウイルス感染症拡大を受けた緊急事態宣言のもとで、自治体からの登園自粛要請に基づき、医療関係者等以外は登園自粛を要請したため大幅に規模を縮小して運営。このため4月～5月は利用者が減少し売上減。緊急事態宣言解除後は、通常運営を再開し、利用率は徐々に回復しているが、完全に戻るには一定程度時間を要すると見込まれる。

現在の対応

- ◆本社 在宅勤務・時差出勤の推進、感染防止対策の上、3密を避けた業務、オンライン会議等の活用
- ◆園 感染防止対策を施して運営
イベント見合わせ、オンライン保育コンテンツ配信等の取り組み

今期・来期以降の計画

2021年3月期 計画

一定程度コロナウイルスの影響はあるものの、経営は順調に推移している。今後も全施設の収益性基盤の安定化を図り、持続的な成長の基盤とするとともに、新規事業の次期スタートのための準備を進める



■ 認可保育所開設計画

2021年3月期に11園の開設

9園は4月1日 開園済み

7月1日に東京都豊島区にキッズガーデン上池袋（開園済み）

12月1日に東京都目黒区にキッズガーデン目黒三丁目（開園予定）

■ 既存園の定員充足率アップ

開園後、2年目、3年目の受け入れ園児数の増加

■ 新規事業準備

東京・広尾地区にハイエンド学童保育施設の22年3月期開園へ向け準備中

■ 従業員定着率の向上と育成強化

2021年3月期 業績予想

	2020/3期	2021/3期予想	2021/3期1Q
売上	7,275	8,852	2,167
営業利益	-323	-682	-287
営業外収益	2,284	1,387	1,114
営業外費用	76	53	10
経常利益	1,885	651	816
純利益	1,175	387	476

(単位：百万円)

2021年3月期 業績予想について

■ 売上

期中に11園の開設、既存園の園児数増が売上増に貢献。
新型コロナウイルス感染症の影響がある程度続くことを想定。
認可保育所は、影響は軽微であるものの、例年見られる年度末に向けた利用者の増加が、今期は増加率が減ることを想定。
認可外保育施設は、売上の回復には時間がかかること、また新型コロナウイルス対策による一時的な休園の発生もあり得ることにより売上げが減少することを想定。ただし再度の緊急事態宣言による登園自粛は織り込んでおりません。

■ 営業損益

認可保育所の売上は増加するものの、認可外保育施設の売上減、新規事業開発準備の投資等のため、営業損益のマイナスが前期より増加。

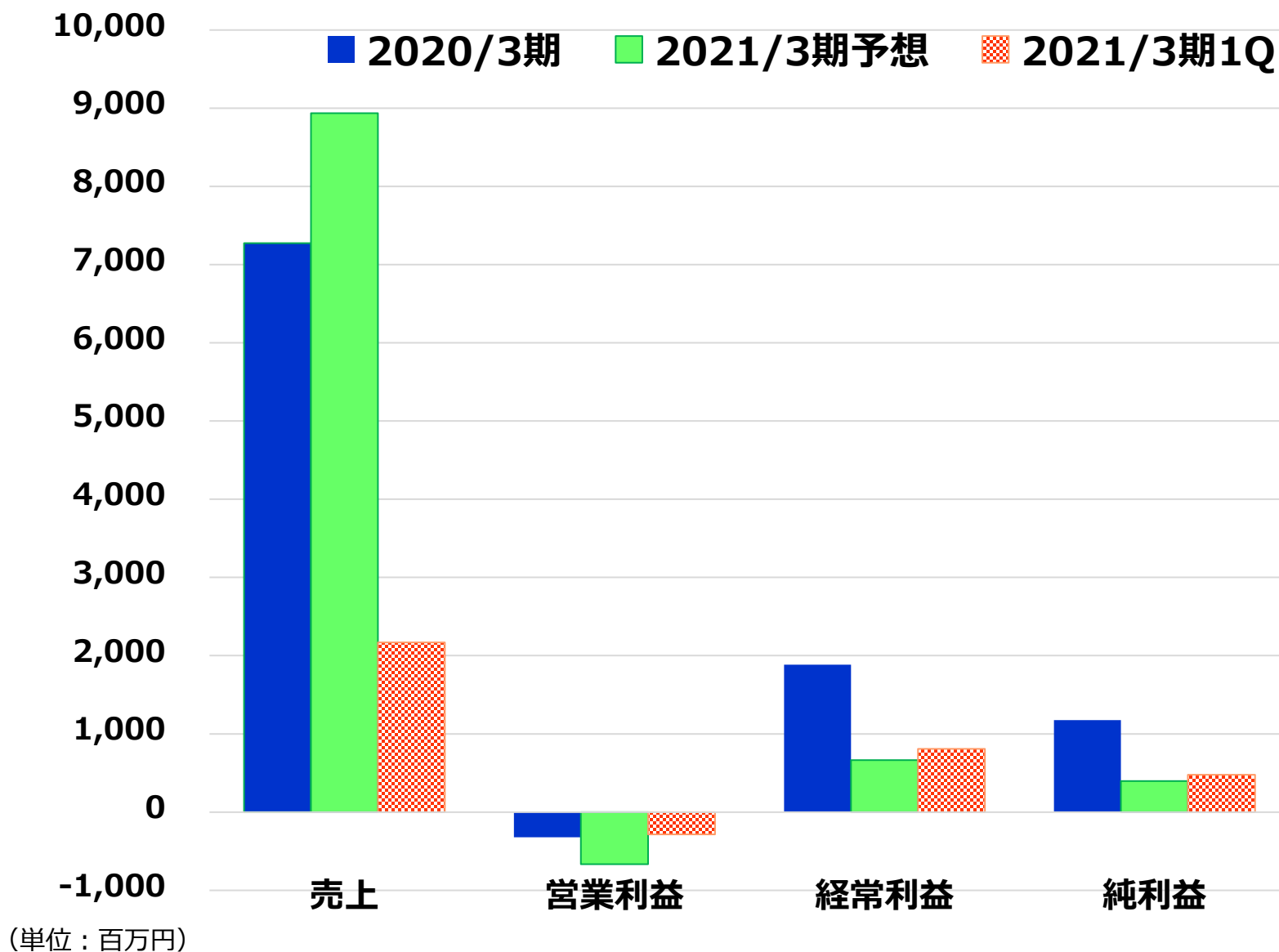
■ 営業外収益

新規開設に係る設備投資に対する補助金収入があるものの、2021年3月期の新規開設11園のうち対象となるのは8園と増床の1園。前期の14園に対して対象園が9園と大きく減少するために、営業外収益は減少。

■ 経常利益

前期に比べ、営業損益マイナスの拡大、営業外収益の減少の結果、当期は経常利益も減少を予想。

2021年3月期 業績予想について



2022年3月期の方針について

認可保育所

- ⇒ 東京都内にて新規開設計画 10園以上を予定
継続的な成長と東京におけるシェア拡大
- ⇒ 既存園の充足率最大化 収益の改善

認可外保育施設（プレスクールー体型保育所）

- ⇒ ブランドリーダーとしてさらなる教育プログラムの充実
- ⇒ 新園開設計画の推進

新規事業展開（幼児教育・学童）

- ⇒ 21年4月に東京都広尾地区にハイエンド学童保育施設を開設予定
ブランドモデルを確立して2023年3月期以降の拡大展開を準備

これからの成長ビジョン

認可保育所

- ✓ 今後数年間の園数拡大から、他事業者との連携強化へと展開
- ✓ 高品質サービスの提供で、定員充足率の向上

プレスクール一体型保育所（認可外保育施設）

- ✓ ブランドの基盤として、園数・園児数を着実に拡大
- ✓ ハイエンドサービス開発強化による差別化推進
- ✓ 利用しやすい料金のセカンドラインのプレスクールを展開

幼児教室・学童

- ✓ 幼児教室、ハイエンド学童 都心部でモデル校確立から横展開へ
- ✓ 乳幼児から小学生につながるサービスの展開とシェア拡大

M&A 海外展開

- ✓ 積極的なM&A、コロナ後を見据えた海外展開